

環境報告書 2011

Environmental Report 2011



HONDA CONNECTORS



『環境報告書』2011 目次

1.	トップメッセージ	2
2.	環境報告書発行について	3
3.	地球環境保全への取り組み	3
4.	環境方針	4
5.	推進体制	4
6.	環境方針・環境目標カードの配付と徹底	5
7.	環境保全に関する自主行動計画	5
	(1) 環境目標達成状況	5
	(2) 節電行動計画	5
	(3) ハイブリッドカーの導入	6
	(4) エコプロダクツへの取り組み	6
8.	グリーン調達	6
9.	関係会社の環境保全活動状況	7
	(1) 安曇野本多通信工業株式会社	7
	(2) 香港本多有限公司本多通信製品廠	7
	(3) その他関係会社	8
10.	化学物質の管理	8
11.	社会貢献	8
	(1) 植樹活動	8
	(2) 献血推進	9
	(3) ボランティア活動	9
12.	外部コミュニケーション	9
13.	環境活動のあゆみ	9
14.	認証取得状況	10
	(1) ISO 9001	10
	(2) ISO 14001	10
15.	お問い合わせ先	10



『環境報告書 2011』

1. トップメッセージ

去る3月11日に発生した東日本大震災で、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様にお見舞い申し上げます。また、福島第一原発の事故で、避難をされている皆様の一日も早い通常生活への復帰を心よりお祈り申し上げます。

また弊社では、今般の電力不足に対応するため、目黒本社を対象とした“節電行動計画”を定め、電気設備類の更新や運用改善による“使用最大電力20%抑制”に取り組んでいます。

地球温暖化など、地球環境は変化し、環境への負荷も著しく増えています。

その結果、自然災害が世界各地で多発し、社会に大きな危機をもたらす一方で、天然資源の枯渇・価格高騰や環境規制の厳格化などがビジネスの動向に大きな影響を与えています。

このような環境変化に対して、各企業では「低炭素社会の実現」「生態系の保全」「地域社会への貢献」など持続可能な社会への貢献を推進しています。

弊社グループでは、地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、「かけがえのない地球環境を守るため、よりよい企業活動を行う」を基本に、企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮し、持続的発展に取り組んでいます。

省エネ化、CO2削減、社会貢献活動等を行うと共に、製品の企画・設計から部品調達、生産、物流に至るまでサプライチェーン全体で、環境負荷の低減に日々チャレンジしています。最近の具体例としては、LED照明、スマートグリッド、太陽光発電などの新エネルギー分野向けエコプロダクツの開発を進めると共に、省エネタイプの照明器具への更新、工場屋根への遮熱塗装、さらには営業車へのハイブリッドカー導入などを実施しています。

このように、弊社グループは、コネクタメーカーとして技術と製品で環境保全に寄与すると共に、環境に配慮した事業活動により、責務を果たしてまいります。引き続き、お客様、仕入先様、関係先様、株主様のご理解とご支援を賜りたく存じます。



2011年7月7日

本多通信工業株式会社

代表取締役社長 佐谷 紳一郎



2. 環境報告書発行について

弊社グループの企業活動が環境に与える負荷と、それらを低減するための様々な取り組みに関する内容についての情報開示を主目的に本報告書を発行するものです。

今回の報告書対象期間は 2010 年度の一年間を報告しています。報告対象範囲は、当社の本社・松本工場が中心であり、関係会社に関しては必要と考えられる場合についての情報を記載しています。さらに、廃棄物、エネルギー削減など環境保全活動の状況やグリーン調達活動に加え、環境配慮型新製品をご紹介します。

本報告書は、環境省のガイドラインとGRI(Global Reporting Initiative)のガイドラインを参考に作成いたしました。

3. 地球環境保全への取り組み

21 世紀を迎え、生産・消費・廃棄という「一方向型社会」からライフサイクル全体を考慮した「循環型社会」への転換が強く求められています。こうした中、当社は 2001 年 5 月に ISO 14001 を認証取得し、環境方針を基本に、企業のあらゆる面で地球環境保全に配慮して、経済成長との両立を目指しています。

具体的な環境活動としましては、エネルギー消費量の削減、天然資源消費量の削減、事務用品消費量の削減、廃棄物発生量の削減、環境に配慮した製品の開発など環境負荷の低減を図っています。また、2005 年 6 月に「グリーン調達ガイドライン」を発行し、化学物質に係わる国内および欧米の法規則を背景として、当社の自主管理レベルを進化させるため、化学物質の購入、使用、廃棄、製品化までを管理範囲にとらえる「化学物質管理システム」の運用を行っています。

当社は環境 ISO 14001 と、すでに認証取得している品質 ISO 9001 を ISO 活動の両輪として、継続的改善を推進し、「環境にやさしく」「品質に厳しい」企業として展開してまいります。

本多通信工業株式会社(本社)



〒152-8520

東京都目黒区目黒本町六丁目 18 番 12 号

TEL : 03-3714-1151 (経営管理グループ)

03-3714-1152 (経営企画グループ)

03-3714-1161 (セールスグループ)

FAX : 03-3714-1951 (経営管理グループ)

03-3714-1951 (経営企画グループ)

03-5721-7090 (セールスグループ)



4. 環境方針

【基本理念】

本多通信工業株式会社は、地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、「かけがえのない地球環境を守るため、よりよい企業活動を行う」を基本に、通信機器、一般機器用コネクタの製造をしている企業であることを踏まえ、企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して持続性ある発展を推進する。

【基本方針】

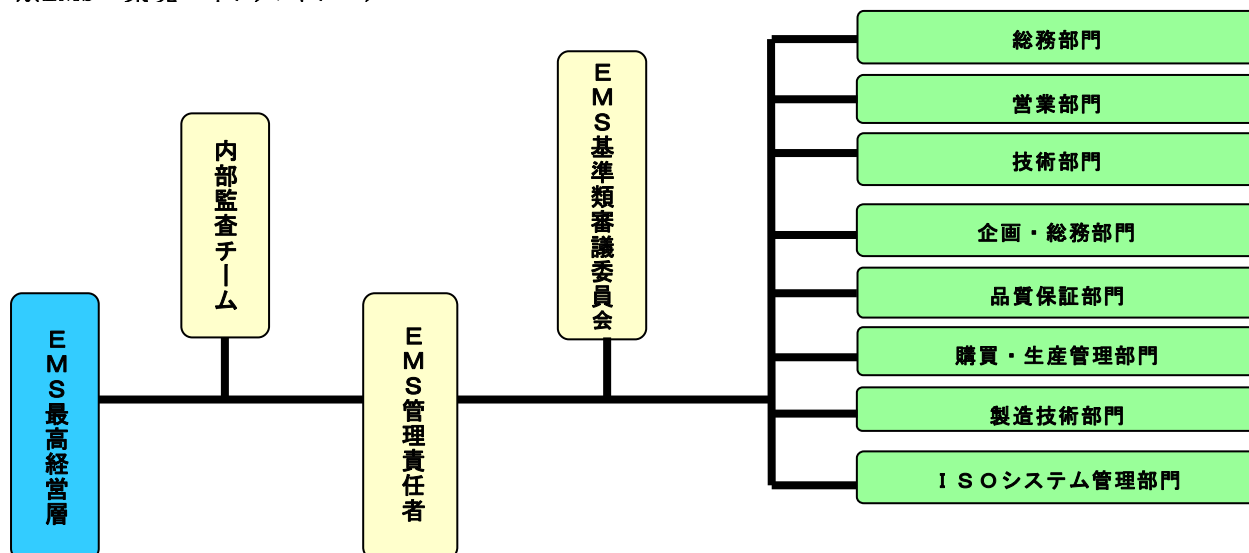
- (1) 環境影響評価に基づき技術的、経済的に可能な範囲で、当社の活動、製品及びサービスに関わる環境側面の環境負荷低減に取り組む。
- (2) 地球資源の有限性を認識し、環境保全活動の継続的な改善・向上に取り組み、地球環境の汚染予防に寄与する。
- (3) 環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意したその他の要求事項を順守する。
- (4) 環境目的及び目標を定め、定期的にレビューし、その達成と環境保全に取り組む。
 - 1) 資源の有効利用と省エネルギーの推進
 - 2) 廃棄物の適切な分別と排出量の減量化
 - 3) 有害化学物質等の適切な管理と減量化
 - 4) 環境に配慮した製品の開発
- (5) 全従業員一人ひとりの改善行動が資源枯渇の抑制と自然環境の保全に大切なことを認識し環境保全活動を推進するため全従業員に啓発教育を行う。
- (6) 良き企業市民として、地域の環境活動を通じて、社会貢献に寄与する。
- (7) この環境方針は、全従業員・構内常駐関連会社に周知するとともに、一般にも公開する。

5. 推進体制

当社は、EMS^{*}の最高責任者であるEMS最高経営層が環境方針等を決定し、以下の体制にてEMSに関する諸施策を各部門に展開しています。

また、EMS 基準類審議委員会は、環境方針、環境目的・目標、環境マネジメントプログラム等を審議し、継続的な改善を進めています。

※EMS＝環境マネジメントシステム



6. 環境方針・環境目標カードの配付と徹底

従業員等に環境方針・環境目標カードを配付し意識の高揚を図っています。また、毎年4月年度初めに社長訓示を行い社内に徹底しています。

7. 環境保全に関する自主行動計画

(1)環境目標(2010年度)達成状況

2010年度の「エネルギー(電力)消費量」「天然資源(ガソリン)使用量」「事務用品(コピー紙)使用量」「廃棄物発生量」の削減に関する自主行動計画を推進した結果、目標を達成することができました。

2011年度も全ての目標達成に向けて活動を行っていくと共に、「環境に配慮した製品の開発」(RoHS指令の禁止物質全廃・PVCの削減・資源の有効活用)、「社会貢献活動への取り組み」についても対応してまいります。

【参考資料】 環境目標(2010年度)達成状況／数値目標 (CO2排出量)

施策	年間目標値	年間実績値	結果
電力消費量の削減	120.8 万 kg 以下	108.2 万 kg	達成
ガソリン使用量の削減	4.93 万 kg 以下	3.72 万 kg	達成
コピー紙使用量の削減	2.99 万 kg 以下	1.27 万 kg	達成
廃棄物発生量の削減	57.5 t以下	53.52 t	達成

(2)節電行動計画

電力不足に対応するため、目黒本社を対象とした“節電行動計画”を定め、電気設備類の更新や運用改善による“使用最大 電力 20%抑制”に取り組んでいます。

対象設備	運用改善	設備改善	節電効果
照明	<ul style="list-style-type: none"> ・執務エリアの照明を間引き強化 ・使用していないエリアの消灯強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率蛍光灯へ変更 	-4%
空調 (冷房)	<ul style="list-style-type: none"> ・設定温度28℃ ・稼働時間の設定 ・執務エリアの集約による使用台数制限 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダクト清掃による効率UP ・風量調整による効率UP 	-15%
OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間席を離れる時 モニタはOFF, 本体はスタンバイ ・各フロアのプリンタ稼働台数を削減 ・退社時はプリンタとPC 完全OFF 		-1%
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベータ停止 ・自動販売機照明停止 		
節電効果合計			-20%



①高効率蛍光灯へ変更



②松本工場の屋根への遮熱塗装実施



(3)ハイブリッドカーの導入



(4)エコプロダクツへの取り組み

パナソニックの創業100周年ビジョン“エレクトロニクス No.1 の環境革新企業“に呼応し、弊社も、LED、スマートグリッド、太陽光発電などの新エネルギー分野へ新商品を投入してまいります。

LED、太陽光発電用コネクタは秋にも新モデルを発表したいと考えています。

新エネルギー分野(Eco Products)
地球環境にコネクタ技術で貢献
Panasonic 創業100周年ビジョンに呼応

創業100周年ビジョン

エレクトロニクスNo.1の「環境革新企業」
全事業活動の基軸に「環境」を置き、イノベーションを起こす

Green Life Innovation Green Business Innovation

LED用コネクタ

スマートメータ用コネクタ

太陽電池用コネクタ

8. グリーン調達

当社では、2005年6月にRoHS指令など製品に含まれる環境負荷物質を規制する動きに対応して「グリーン調達ガイドライン」を発行し、全協力会社に対し趣旨を理解していただくため、説明会の実施とともに当該ガイドラインに従った環境負荷物質の削減に取り組んでいます。



9. 関係会社の環境保全活動状況

(1) 安曇野本多通信工業株式会社

2003年6月にISO 14001の認証を取得しており、「物づくりにおける改善を進め、環境負荷物質の低減」「省エネルギーを推進し、限りある資源確保」「廃棄物の減量化、分別によるリサイクル化」を事業活動に係る環境側面の重点テーマとして取り組んでいます。

※2010年10月 旧あずさ電子工業株式会社と旧本多興産株式会社が合併。



本社
〒399-8102
長野県安曇野市三郷温 4604 番地
(本多通信工業株式会社 松本工場内)
TEL : 0263-77-1260
FAX : 0263-77-3316



穂高工場
〒399-8301
長野県安曇野市穂高有明 1059 番地 1
TEL : 0263-83-4776 (代表)
FAX : 0263-83-3984

(2) 深圳本多通信技術有限公司

2005年5月に環境 ISO 14001 の認証を取得し、廃棄物、エネルギー削減などの環境保全活動について展開しています。また、すでに認証取得している品質 ISO 9001 とともに ISO 活動の両輪として、マネジメントシステムの継続的改善を展開しています。



中国深圳市寶安区西郷街道
黄田甲田崗工業区第 18 棟
TEL : +86-755-27507812
FAX : +86-755-27507817



(4)その他関係会社

(株)ホンダエンジニアリング ・ Honda Connectors Limited ・香港本多有限公司
本多電子(香港)有限公司 ・ Honda Connectors(S)Pte Ltd については弊社ホームページ
<http://www.honda-connectors.co.jp/>を参照願います。

10. 化学物質の管理

蛍光X線検査装置



当社および関係会社は、PRTR(化学物質排出移動量届出制度)指定化学物質である鉛化合物などについて、グリーン調達関連で指定されている重金属類の代替物質への切り替えを実施しており、松本工場では2005年12月に、「深圳本多通信技術有限公司」(中国 深圳市)では2006年7月に蛍光X線検査装置を導入し、社内管理体制と検査体制を強化しています。

11. 社会貢献

(1) 植樹活動

本多通信工業が加盟している、安曇野工業会の環境安全部会の取り組みとして毎年地域の公園に植樹をしており、本多通信工業も、緑化キャンペーンの寄付と植樹祭に参加しています。植樹には、公的機関(安曇野市)からも参加しています。

- 最近の活動
- ①2005年 10月27日 安曇野市堀金「つつじ園」にて実施
 - ②2006年 6月 6日 安曇野市明科「あやめ公園」にて実施
 - ③2007年 6月 5日 安曇野市豊科「豊科南部総合公園」にて実施
 - ④2008年 7月 7日 安曇野市豊科「豊科南部総合公園」にて実施
 - ⑤2009年 6月17日 安曇野市豊科「豊科南部総合公園」にて実施
 - ⑥2010年 6月29日 安曇野市豊科「豊科南部総合公園」にて実施



(2) 献血推進

当社(本社・松本工場)では社会貢献活動の一つとして、30年以上にわたり献血活動を行ってきました。今後も社会貢献の一環として実施して行きます。

(3) ボランティア活動

社会貢献活動(CSR)の一環として使用済「切手」「プリペイドカード」「メータースタンプ」「インクジェットカートリッジ」「ペットボトルキャップ」を回収してボランティア団体に送付することで、社会貢献活動の援助となるように取り組んでおり、ペットボトルキャップの回収は資源の分別にもなっています。

使用済インクカートリッジ回収ボックス



* 2011年2月 ペットボトルキャップ8800個(ワクチン11人分)を回収し、ボランティア団体に寄付。

12. 外部コミュニケーション

行政機関、顧客、地域住民の方からの環境に関するお問い合わせ、ご要望の他にお客様からのご要求に対して個別に対応しています。

13. 環境活動のあゆみ

日付	主な活動内容
2000年 1月	環境管理室発足
2000年 11月	環境マネジメントマニュアル制定、Rev.01 発行
2001年 5月	国際環境マネジメント規格 ISO14001 認証取得(本社・松本工場)
2002年 9月	環境管理室を環境管理課に組織変更し、品質保証部に統合
2005年 6月	「本多グリーン調達ガイドライン」発行
2005年 12月	グリーン調達支援システム導入により含有化学物質調査の効率向上
2005年 12月	松本工場に蛍光X線検査装置を導入
2006年 2月	国際環境マネジメント規格 ISO14001:2004 年版移行完了
2006年 3月	RoHS 指令の禁止物質ほぼ全廃
2006年 7月	環境管理課より ISO システム管理課に組織変更
2007年 2月	国際環境マネジメント規格 ISO14001:2004 年版 第二回更新完了
2007年 6月	「環境報告書」をはじめて発行
2007年 11月	「安曇野工業会」の2007年環境対応研修会事業発表
2008年 4月	品質保証部 ISO システム管理課より、経営企画部管理課に組織変更
2008年 11月	経営企画部リスク管理課に名称変更
2009年 7月	品質保証グループISOチームに組織変更
2010年 2月	国際環境マネジメント規格 ISO14001:2004 年版 第三回更新完了



14. 認証取得状況

(1) 【ISO 9001】

審査登録機関:RCJ【(財)日本電子部品信頼性センター】

登録番号:QA-98-004D

発行日 :2010年2月8日

登録日 :1998年2月27日

更新日 :2010年2月27日

有効期限:2013年2月26日

ISO 9001 登録



(2) 【ISO 14001】

審査登録機関:RCJ【(財)日本電子部品信頼性センター】

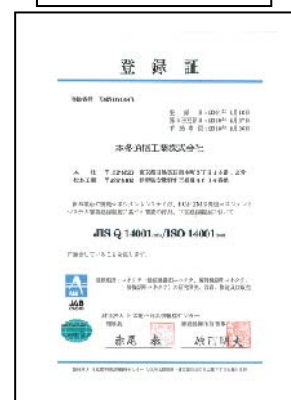
登録番号:EMS06049B

登録日 :2001年5月16日

更新日 :2010年2月27日

有効期限:2013年2月26日

ISO 14001 登録



15. お問い合わせ先

本多通信工業株式会社

ISO 事務局:TEL 03(3714)1154

FAX 03(3714)9772

ホームページ : <http://www.honda-connectors.co.jp/>

注)この報告書は予告無く変更することがありますのでご了承願います。

2011年8月発行

ISO-ES11-001

ISO チーム

